

S 社会関連活動

サステナブルな社会基盤実現への貢献に向けて、太陽誘電では、社会(S)に関しても様々な課題の中からより重要なものをマテリアリティとして特定し、取り組みを推進しています。

人権

人権・労働方針

太陽誘電は、労働に関する各国の法令順守はもとより「国連世界人権宣言」「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」「国連グローバル・コンパクト」「国連ビジネスと人権に関する指導原則」「RBA (Responsible Business Alliance) 行動規範」等の人権に関わる国際規範を支持し、尊重しています。また2020年5月に「国連グローバル・コンパクト」に署名し、人権・労働・環境・腐敗防止に関する「国連グローバル・コンパクト10原則」に基づき行動しています。

労働人権マネジメント方針および順守事項

[方針]

太陽誘電は、労働人権に関するあらゆる法規や国際ルール等を順守するとともに、太陽誘電グループCSR憲章および行動規範に従い以下の順守事項を定め、社会から信頼される企業を目指します。

[順守事項]

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 児童労働の禁止 | 5. 差別の禁止 |
| 2. 強制労働の禁止 | 6. 非人道的な扱いの禁止 |
| 3. 健康と安全の確保 | 7. 適正な労働時間 |
| 4. 結社の自由 | 8. 報酬/賃金 |

人権デューデリジェンス

企業は「国連ビジネスと人権に関する指導原則」に基づく、人権デューデリジェンスを行っていくことが求められています。太陽誘電は、人権尊重の取り組み強化において、労働・人権尊重・差別・ハラスメントの部門・責任者を明確化し、RBA行動規範などに準拠した労働人権マネジメントシステム(定期的な内部監査を含む)を整備・運用することで、社会から信頼される企業を目指しています。2020年度からは、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンが主催するヒューマンライツデューデリジェンス(HRDD)分科会、SDGs分科会などにも参加しています。また、国内・海外の太陽誘電グループにおいて、派遣・構内請負会社、警備・食堂・清掃業者(構内常駐業者)の皆様と人権・労働に関する同意書を締結し、監査などの定期的な評価と是正にご協力をいただいています。

2021年度の取り組み例

- 国内拠点の従業員を対象に、eラーニングによる定期教育(ハラスメントの防止、人権方針、性的指向などを含む)を実施しました。また、その教育資料(英語版を含む)を全拠点に共有しました。
- 国内拠点の労働人権対応部門の従業員を対象に、eラーニングによる定期専門教育を実施しました。

安全衛生

太陽誘電は、「会社の重要な源である従業員の幸福を確保するため、安全を常に確保し従業員が安心して働ける職場を追求するとともに従業員の健康を維持する」という安全衛生基本理念に基づき、労働災害の撲滅、重大リスクの低減などに取り組んでいます。

現在は2025年度の中期目標達成に向けて、5M (Man、Machine、Method、Material、Measurement) の項目ごとに取り組みを明確にし、その結果を数値として評価するために目標傷病率、目標度数率を設定し、労働災害防止に向けて活動しています。

安全衛生中期目標

目標と実績		中期目標達成のための5M目標	
傷病率	度数率	Man	「安全行動意識」の醸成
2025年度目標		Machine	ISO、IEC水準の設備安全
0.016 未満	0.08 未満	Method	バラツキのない安全作業の標準化
2021年度実績		Material	化学物質の有害性/危険性の最小化
0.021	0.10	Measurement	チェック水準の深化

資材調達活動

太陽誘電は資材調達に関する基本方針を定め、グループが調達する部品・材料・機械などの製品および技術・サービスなどの購入先様を含めたサプライチェーン全体でのCSR調達活動を推進しています。

CSR調達への取り組み

CSR調達方針

太陽誘電グループは、「CSR憲章」「CSR行動規範」を制定し、企業の社会的責任を果たすための活動を推進しています。太陽誘電グループの調達活動においても、このCSR憲章、および行動規範を遵守したCSR調達に取り組んでいます。購入先様にも太陽誘電グループのCSR調達への取り組みを共有し、遵守いただく事項を「CSR調達ガイドライン」として配布し、遵守事項についての同意をいただき取引を行っています。購入先様の取引先を含めたすべてのサプライチェーンの中で共に実践していくことを取り組みの方針としています。また、これらの取り組みを評価するため、購入先様に対して定期的に「CSRセルフチェックシート」を送付し、この回答をもとに水準の把握をしています。また必要がある場合は改善に向けての取り組みを購入先様と共に進めています。

責任ある鉱物調達方針

コンゴ民主共和国及びその周辺国(DRC周辺諸国)や高リスク地域(CAHRAs)で採掘されるスズ、タンタル、タングステン、金、コバルトなどの鉱物は、不正な採掘や取引を通じて紛争地域の武装勢力の資金源になることや、児童労働、強制労働をはじめとする人権侵害・労働問題を助長することが憂慮されています。太陽誘電グループは、サプライチェーンにおける社会的責任を果たすための1つとして、当社製品に使用される鉱物の取引を通じてこれらの諸問題に関与することのない鉱物の調達に取り組みます。購入先様に対しては、太陽誘電グループの取り組みをご理解いただき、鉱物調達の履歴調査へのご協力をお願いするとともに、RMIなどの国際的に信頼できる枠組みにおいて、当該問題に加盟していないと認定された製錬所からの調達を要請します。

RBA-VAP監査

太陽誘電は、労働・安全衛生・環境・倫理に関する活動の水準を高めていくため、RBA-VAP監査を定期的に受けており、RBA行動規範の順守状況の第三者評価を行っています。

RBA-VAP監査

<https://www.yuden.co.jp/company/sustainability/environment/management/>

社会貢献

地域社会との共生を基本姿勢とし、ボランティア活動やチャリティーイベントの開催・参加、地域交流や工場見学など、社会貢献活動を実施しています。

2021年度の取り組み例

科学教室

従業員が講師となり、子どもたちの理科への興味・関心を向上させることを目標とした学習の機会を提供しています。2021年度は太陽誘電株式会社において、小学生の親子を対象に、電気の起こる仕組みなどを学習する科学教室を開催しました。



女子ソフトボール部によるこどもたちへの指導

1984年に創立した太陽誘電ソルフィーユは、日本代表選手を常に輩出し、オリンピックにも出場しています。また、全国各地でこどもたちのためのソフトボール教室も開催。2021年度は群馬県中体連の冬季強化練習会での指導や、複数の小学校でのボール投げ指導を行いました。



社会(S)WEBサイト

<https://www.yuden.co.jp/company/sustainability/society/>